

2019年度

事業報告書

自 2019年5月1日

至 2020年4月30日

公益財団法人AOKI財団

I. 事業概要

当財団は、生徒・学生を対象に、学業・人物共に優秀な者に対して奨学援助を行い、もって国際社会に貢献する人間性豊かな人材を育成し、我が国の教育の発展に寄与することを目的としています。

2011年の設立以降、9年目を迎えた当財団は、「ながの視察団 平成の咸臨丸」事業、「AOKI塾」事業、「AOKI起業家育成プロジェクト」事業の教育振興活動を通じて、我が国の教育の発展に寄与してまいりました。

当期の事業活動状況は以下の通りです。

II. 事業の活動状況

1. 「ながの視察団 平成の咸臨丸」事業

長野から日本の将来を担う人材を継続的に育成することを目的に、日本を背負い、日本をより良くしようとする志を持った長野県内の中学生を対象に、様々な経験の機会を提供し、卓越した国家経営者の輩出の土台とするため、「第6期 ながの視察団 平成の咸臨丸」事業を継続いたしました。

第6期の研修生12名に対して、AOKI財団主催、株式会社ビジネスコンサルタントのご協力をいただき、2018年9月より当期の2019年11月まで毎月1回の国内研修、2019年3月にはアメリカ合衆国視察研修、8月にはフィンランド・スウェーデン視察研修を実施いたしました。

以下当期の研修内容となります。

- ① 毎月1回原則第4日曜日に、長野市あるいは松本市にて、社会人基礎力を向上させる目的で、個人作業、課題討議、チーム活動、英語での授業などを組み合わせて実施しました。また、海外視察研修や国内で面談する方々との研修が実り多いものになるように準備いたしました。
- ② 2019年8月1日には、以下の東京研修を実施いたしました。
 - ・Global Citizens Initiative(GCI)主催のハーバード大学教授 Linda Hill博士の「これからのリーダーシップ」に関する講義(Google Japan本社にて)
 - ・Linda Hill博士の講義の振り返り(株式会社ビジネスコンサルタントにて)

③ 2019年8月11日から8月18日にかけて、フィンランド・スウェーデン視察研修を実施しました。

視察研修内容は以下になります。

フィンランド・ヘルシンキ

- ・市内視察(大聖堂、テンペリアウキオ教会、ウスペンスキー寺院、ヘルシンキ市立図書館、視覚障がい者支援施設等)
- ・Espoo市の小中学校Martinkallion Koulu訪問
- ・ENTOCUBE(Aalto大学構内にある学生起業家支援NPO、コオロギを食物に変えたベンチャー企業)CEOの講義
- ・Ivana Helsinki House(姉妹で起業したデザイン会社)訪問
- ・Viikki Environment Houseにて、ヘルシンキ市の土地開発についての講義
- ・ストックホルムまでの「シリアライン」のフェリー体験



ENTOCUBE CEO講義と
食用コオロギ



Ivana Helsinki House



ヘルシンキ市の土地開発についての講義

スウェーデン・ストックホルム

- ・市内視察(ストックホルム市庁舎、ヴァーサ博物館、ノーベル博物館等)
- ・Fryshuset(スポーツや音楽、学科の勉強などを通して若者を支援するNGO団体) 視察
- ・Ms.Lena Alfrediusの「これからの世界のリーダーシップについて」の講義 (ホテル会議室にて)
- ・Oncopeptides(抗がん剤臨床開発を行う製薬会社)訪問、講義
- ・Ragn-Sells(サステナブル経営を実践している廃棄物収集管理会社)訪問 SDGsについて講義
- ・Max Burgers社(サステナビリティの実践をしながら健全経営を続けるバーガーチェーン)訪問、講義
- ・SIWI: Stockholm International Water Institute(世界の水問題(洪水・干ばつ・汚染)を解決するNGO)訪問、講義



Ms.Lena Alfrediusの講義



Max Burgers社



Fryshuset

- ④ 2019年12月22日修了式では、1年4か月の成果発表、プレゼンテーションを実施いたしました。



次期におきましては、第7期の募集及び選抜、研修予定ですが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、現段階では日程は未定です。見通しが立ちました時点で、速やかにご報告させていただきます。なお元号の変更に伴い、第7期より「ながの視察団 AOKI咸臨丸」に名称を変更しております。

2. 「AOKI塾」事業

さまざまな体験を通じて学びを深め、向上心を深めるための活動資金として奨学金を支給する「第4期AOKI塾」の2年目となります。

前期選抜され奨学金を支給した長野県(19名)、新潟県(6名)、富山県(4名)、福井県(2名)の中学生31名の奨学生に対し、2019年9月8日に中間報告会を実施するとともに、同年9月より翌2020年8月までの1年間分として一人12万円の2年目の奨学金を支給いたしました。中間報告会では、JAXA(宇宙航空研究開発機構)社友 Kosyoya2020代表柳川孝二様の記念講演「宇宙の扉を開こうー見て、考えて、そしてー」の実施を、研修生からは1年間の活動が報告されました。

次期におきましては、第5期の募集及び選抜、研修予定ですが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、現段階では日程は未定です。見通しが立ちました時点で、速やかにご報告させていただきます。



3. 「AOKI起業家育成プロジェクト」事業

日本におけるスティーブ・ジョブズを育てることを目的に、横浜市在住及び横浜市内の公立私立中学校に在学中の中学生を対象に起業家教育を行い、将来、日本はもちろん世界で活躍する企業家を育てる「第3回AOKI起業家育成プロジェクト」事業の特別後援を継続いたしました。

同事業は「AOKI起業家育成プロジェクト実行委員会」主催、Space BD株式会社の協力をいただき、以下の内容の研修を実施いたしました。

- ① 2019年5月より11月までは、月1回集合し、北川達夫先生（星槎大学大学院教育学研究科客員教授）の特別講座及びビジネスプラン発表に向けてのワークショップを行いました。
- ② 2019年8月19日から8月25日にかけて夏休み特別プログラム研修を実施いたしました。研修内容は以下になります。

インターンシップ研修

- ・訪問先：Wakrak株式会社（デイワークアプリ“ワクラク”を運営）
株式会社POL（理系学生向け就活アプリ“LabBase”を運営）
Talknote株式会社（社内エンゲージメントを高めるクラウドサービスを提供）
- ・研修内容：全体朝礼や会議への同席、外出先への同行
起業家や取締役の方々との対談



「内観」プログラム

- ・富山県の北陸内観研修所の講義・実習、特別プログラム
- ・テーマ: 人としての「折れない心・協力」を内観から学ぶ、2日間の特別プログラムを体験
- ・目的: 感謝の心と柔軟性を養い、折れない心を獲得すること
- ・内容: 幼い頃からこれまでの自分自身が親に『お世話になったこと』『して返したこと』
『迷惑をかけたこと』の3項目についての考察

北川達夫先生特別講座

- ・ファクトファインディング

テーマは何故学校の勉強をしなければいけないのか、何故、英数国理社を勉強するのか？

- ・自己認識のワーク

人からどう見えているのか？ということをおのメンバー、サポートチームと1対1で確認

- ③ 2019年12月8日には最終発表会及び修了式に加えてSpace BD株式会社代表永崎将利様の特別講演も行われました。



次期におきましては、第4期の募集及び選抜、研修予定ですが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、現段階では日程は未定です。見通しが立ちました時点で、速やかにご報告させていただきます。

Ⅲ. 管理部門

当財団の収入は、基本財産の運用収入、株式会社AOKIホールディングス及び株式会社アニヴェルセルHOLDINGSよりの寄付金と投資有価証券及び定期預金の運用益で賄われております。同収入額は一定額であるため、効率的にかつ効果的に教育振興活動に貢献できるよう、諸管理活動については必要最低限度の支出にとどめ、評議員、理事及び事務局の英知を集結して活動を実施してまいりました。

なお、前年度に引き続き、評議員、理事の方々には無報酬にてご参加いただきました。